

福井工業大学 脱炭素セミナー

2050年を見据えて、今私たちにできること

-カーボンニュートラルを考えよう-

脱炭素社会をどのように構築すればよいのでしょうか。
将来、私たちが安心して住める地球環境を維持するためにはどうすればよいか、
谷口たかひささんをお招きして、産官学金民連携で1人1人が考えましょう。

◎日 時 令和6年5月22日(水) 16:00~18:00
(15:30~受付開始)

◎場 所 福井工業大学 (福井市学園3-6-1)
2号館6階 2-602教室
Teamsオンライン配信あり
(質問は現地参加の方に限らせていただきます)

参加費
無料

プログラム

- 開会挨拶 福井工業大学 学長 掛下 知行
ご講演 谷口たかひさ 氏 「脱炭素社会をデザインするには-1人の100歩より100人の1歩-」
総括 福井工業大学 建築土木工学科教授 ダイバーシティ・SDGs推進委員会 委員長 吉村朋矩
司会 福井工業大学 経営情報学科教授 菊池武晴

谷口たかひさ氏

【プロフィール】

1988年大阪生まれ。日本の大学在学中に留学費用の工面のため10代ながらインターネットビジネス会社を起業し、イギリスのマンチェスター大学へ留学。卒業後、チェーンストアのエリアマネージャー、アフリカのギニアでの学校設立支援、メガバンク/M&A/メディアのコンサルタント、グローバルIT企業の取締役を経験。その後、社会の課題解決を志してドイツへ移住し、起業。2019年、ドイツで気候危機の深刻さを目の当たりにし、「みんなが知れば必ず変わる」をモットーに「地球を守ろう!」を立ち上げ、気候危機の発信や講演を開始。世界中から講演に呼ばれるようになり、日本では1年で515回、全都道府県での講演を達成。2021年には国連総会の司会とスピーチも務めた。趣味は旅と勉強で、訪れた国は約80カ国、保有資格は国際資格や国家資格を含め30個以上。



脱炭素ってなあに？
講演を聞いてできることを
始めてみませんか？

お申込み方法は裏面をご参照ください

講座趣旨

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」を目指す長期目標を掲げました。日本も2020年に同様の目標を宣言し、脱炭素で強靱な活力ある地域社会を全国で実現しようと進めています。福井県では2030年度の温室効果ガス排出量（2013年度比）49%削減し、2050年には実質ゼロにすることを目指しています。福井工業大学では「2050年はすでにここでつくられている」をブランドメッセージとして、2050年を見据えた社会をネクストステージに導く研究開発、教育活動を多数展開してきました。福井県が2023年11月に設立した「カーボンニュートラル福井コンソーシアム」に参画し、産官学金民協働による本学の強みを活かした研究の展開、人材育成の観点から意識醸成を図る教育を進めていきます。

まちづくりデザインセンターでは「未来につなぐ社会環境をデザインで拓く」をビジョンとして、文理交錯による多様な専門領域を連携させることで、新たな視点を通じたアイデアの創出と、それらを活かしたまちづくり・デザイン活動、未来の地域を拓く「ヒト」の育成を実践することを目指しています。

講演会では、なぜ世界でカーボンニュートラルに取り組む必要があるのかについて考えていきます。私たちの意識が変わる、行動が変わる、前進できるパワーあるお話をしていただきます。

お申込み／お問合せ

- ①右のQRコードあるいは下記URLから
必要事項をご記入の上お申し込みください。
現地参加の定員は先着150名です。
(<https://forms.office.com/r/eiupmun4dk>)

- ②電話・メールでの申し込み
福井工業大学社会連携推進課
Free Dial: 0120-99-7361
Mail: machi-design@fukui-ut.ac.jp

